



## 知エネルギーニュース

地元のみなさまと出光の連携プレーで現代の「里山」づくりをめざしています！

地元のみなさまと出光が協力しあって動物や植物を育む森を守るしくみが、実現しました！

環境と産業、企業と行政が支え合うユニークな取り組みとして注目を集めています。

千葉県では、竹林が根を前後左右に広げ、他の木が根をはる場所を奪い、森林を破壊するという問題が起こっています。動植物が居場所を失うほか、CO<sub>2</sub>を吸収する樹木が減ることで地球温暖化の原因にも。しかし、増えすぎた竹を伐採すると、今度は大量のゴミが発生してしまいます。

そこで千葉県と出光は力を合わせて解決策を編み出しました。千葉県は、伐採した竹をポテトチップスのような薄いかけらに加工。それを出光千葉製油所のボイラで石炭に混ぜて燃やすのです。竹を燃やしたときに出るCO<sub>2</sub>は成長時に吸収されていたものなので排出量には数えず、出光は企業として排出するCO<sub>2</sub>の量を減らすことが可能に。

この取り組みは、昔さまざま生き物とともに日本人が大切にし、じょうずに共生していた「里山」の再生といえます。森の営みと企業活動が助け合う、現代の「里山共生モデル」への期待が高まっています。



里山を破壊する茂り放題の竹林。



千葉県森林組合によってチップ化された竹。



竹チップ受け入れ作業。  
(出光千葉製油所)

【 2008/8/4 公開 (内容は公開時点のものです) 】